

取扱説明書

アルミ製踏み台(ハンドル付)

注文コード:23499428

注文コード:23499437

このたびは、アルミ製踏み台(ハンドル付)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書は、本製品をご使用いただく際の注意事項を記載しております。ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、事故が起こらないよう、内容にしたがって正しくご使用ください。



- 踏台は、正しく使われていないと転倒や転落の危険があります。
ご使用になる時は、踏台が安定した状態であることを確認してください。
- 踏台は、昇降面の左右方向に転倒しやすいので、十分注意してください。
- 本取扱説明書に記載された使用方法以外での使用や、注意事項を守らずに発生した事故などについては、責任を負いかねますのでご了承ください。

表示マークについて

取扱説明書や製品ラベルに記載されている  マーク付きの説明は、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。



危険

記載されている内容を見逃して誤った使い方をした場合、死亡や重大な事故が生じる危険が極めて大きいことを示します。



警告

記載されている内容を見逃して誤った使い方をした場合、死亡や重症などの重大な傷害に結び付く可能性があります。



注意

記載されている内容を見逃して誤った使い方をした場合、人的傷害や製品の破損、その他の物的損害へつながる恐れがあることを示します。



禁止

このマークは、禁止(してはいけないこと)を示します。



強制

このマークは、強制(必ずすること)を示します。

安全のために、必ず守っていただきたいこと

1. 使用条件について



警告



禁止

踏台としての用途以外の使い方をしないでください。

本製品は、高所で作業するための足場として作られた「踏台」です。

使い方を誤ったり、用途以外の使い方をすると、転倒や転落による重大な事故の恐れがあります。



警告



強制

本製品は、本体表示ラベルでの使用荷重の範囲内で使用してください。

体重と荷物の合計重量が、使用荷重を超えときは使用しないでください。

また、荷物はバランスが保てる程度の大きさや重さにしてください。

安全のために、必ず守っていただきたいこと



**取扱説明書・警告ラベルの内容が
理解できない人には使わせないでください。**

本製品の取扱説明書や警告ラベルには、安全上特に重要な事項が記載されていますので、
内容が理解できない人が使うと、重大な事故につながる恐れがあります。



本製品を加工・改造しないでください。
重大な事項を起こす恐れがあります。



**スリッパやナイロン製の靴下など、
滑りやすいものは脱いでください。**

滑りやすいものをはいていると、足を滑らせて転倒や転落の恐れがあります。



**次のような状態のときは
使用しないでください。**

●飲酒時や薬を飲んだとき ●妊娠しているとき ●病気のとき ●疲労しているとき ●身体に異常を感じるとき
身体のバランスを保てず、転倒・転落する恐れがあります。



**作業に適した服装で
使用してください。**

ロングスカート・エプロン・マフラーなど、昇り降りや作業中に、製品に引っ掛かったり、
すそを踏みつける恐れのある服装で使用しないでください。



**本製品を人に貸すときは、
取扱説明書と共に貸し出してください。**

取扱説明書には、安全上の重要事項が記載されています。
よくご理解のうえ使用するよう指導してください。

2. ご使用前に



**使用毎に必ず『ご使用前の点検』(6ページ参照)
を行い、異常のないことを確認してください。**

異常を発見した場合は、絶対に使用しないでください。重大な事故につながる恐れがあります。



**変形した踏台は絶対に
使用しないでください。**

この製品はアルミ製です。曲がったアルミ材は曲げ直すと強度が低下します。
変形した製品を修理して使用すると、折れたり曲がったりして、重大な事故のにつながります。

安全のために、必ず守っていただきたいこと

3. 持ち運ぶとき



注意



禁止

持ち運ぶときは、引きずったり、
投げたり、乱暴に扱わないでください。

変形やへこみ、破損の原因となります。

4. 設置場所



危険



強制

設置や持ち運ぶときは、配電線や電源コード
などに引っかけないよう注意してください。

本製品は通電しますので、感電による重大な事故につながる恐れがあります。



警告



禁止

踏台が滑りやすい場所には
設置しないでください。

設置場所が下記の状態の場合、転倒や転落の恐れがあります。

- 滑りやすいビニール製の床、タイル、鉄板の上●濡れている場所●積雪や凍結している場所
- 砂、ほこり、落ち葉などで滑りやすい場所●その他滑りやすい場所



警告



禁止

踏台が安定しない場所には、
設置しないでください。

設置場所が下記の状態の場合、踏台が傾いて転倒や転落の恐れがあります。

- やわらかい床(じゅうたんなど)や地面●段差があったり、凹凸があって安定しない場所●傾斜している場所や床、屋根の上
- 積雪している場所●踏台ががたつく場所●その他、安定しない場所



警告



禁止

雨の中、風の強い場所には
設置しないでください。

濡れた踏ざんで滑ったり、強い風を受けて体のバランスをくずして、転倒や転落する恐れがあります。



警告



禁止

足元や周囲がはっきり見えない暗がりには、
設置しないでください。

足を踏み外したり、周囲の危険物に気づかないことが原因で、転倒や転落する恐れがあります。



警告



禁止

出入口やドアの前には、
設置しないでください。



注意



禁止

周囲に危険なものがある場所や頭上に
障害物のある場所には設置しないでください。



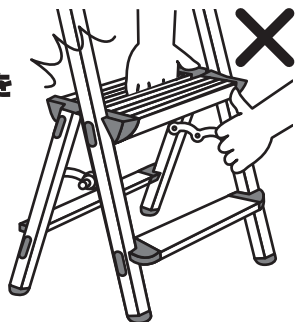
安全のために、必ず守っていただきたいこと

5. 開閉するとき



踏台を完全に開き、開き止め金具(開き止め装置)を確実にロックしてください。

開き止め金具(開き止め装置)のロックが不十分な状態で使用すると、脚が開閉し、転落や転倒の恐れがあります。



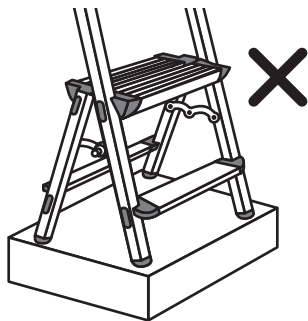
踏台を開閉するときは、可動部や回転部などで、手をはさまないように注意してください。

けがをする恐れがあります。

6. 設置するとき

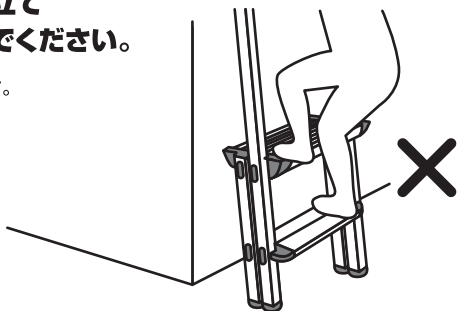


踏台を高くするために踏台にパイプや木材などをつないだり、台や箱の上に乗せたりしないでください。



踏台を折りたたんだまま、建物に立て掛けたり、水平にして使用しないでください。

不安定な使用により、バランスをくずして、転倒や転落する恐れがあります。



7. 昇り降りや作業するとき



天板の上で移動しないでください。

バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。



天板の端に乗ったり、爪先立ちや片足で立たないでください。

バランスをくずして、転倒や転落の危険があります。
天板に乗るときは、身体が天板の中央になるよう
天板に対して足裏を直交に踏んで使用してください。



踏台は慎重に昇り降りし、飛び乗りや飛び降りは、しないでください。

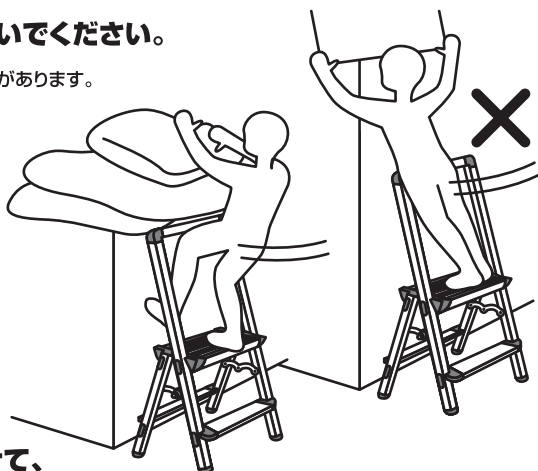
傷害事故の恐れがあります。昇り降りは最下段の踏ざんまで使用し、慎重に行ってください。

安全のために、必ず守っていただきたいこと



警告 禁止 踏台から身体を乗り出さないでください。

バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。



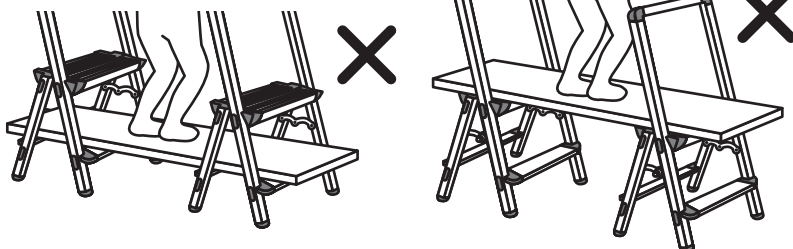
警告 禁止 使用中、踏台の上で壁や物を無理に押したり、引いたりしないでください。

無理に押したり、引いたりすると反動で踏台が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。



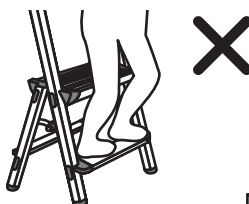
警告 禁止 二つの踏台の間に板をかけて、足場などとして使用しないでください。

踏ざんなどが破損したり、踏台が不安定になって転倒や転落の恐れがあります。



警告 禁止 踏台を背にして、昇り降りしないでください。

身体が不安定となり、転倒や転落の恐れがあります。



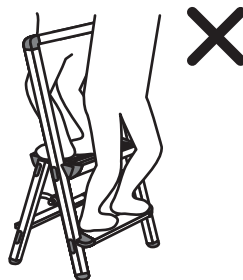
警告 禁止 身体の安定が得られないような荷物を持って、昇り降りしないでください。

身体のバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。
そのような荷物がある場合、補助者が荷物を手渡してください。



警告 禁止 同時に2人以上乗らないでください。

踏台が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。



ご使用前の点検

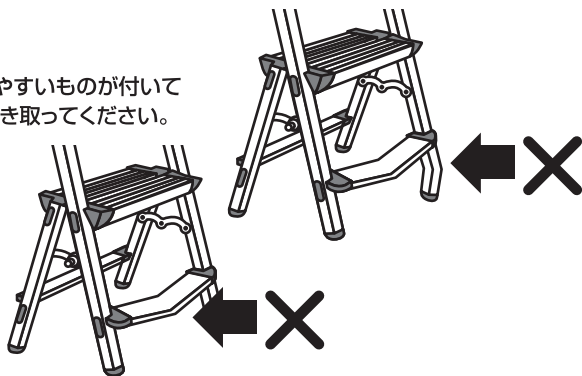
踏台をご使用になるときは、その都度、下記の点検を行い、異常のないことを確認してください。また、異常を発見した場合は直ちに使用を中止してください。

1. 目で行う点検

■踏ざんや天板にグリース・油・泥・雪・水など滑りやすいものが付いていないかを確認し、付いている場合は、完全に拭き取ってください。

■支柱に曲がり・ねじれ・へこみがある場合は、**絶対に使用せず廃棄してください。**

■踏ざんに曲がり・ねじれ・へこみがある場合は**絶対に使用せず廃棄してください。**



■各部の接合箇所には割れや腐食、また、取付け部品の破損・脱落・変形・摩耗・腐食がある場合は**絶対に使用せず廃棄してください。**

■リベット・ねじ・ピンなどにゆるみや抜け落ちがある場合は**絶対に使用せず廃棄してください。**

■支柱端具のキャップが外れたり、すり減ったりしている場合はそのまま使用せず交換してください。

2. 触って行う点検

■天板および各段の踏ざんをねじり、
がたつきがないか点検してください。
がたつきがある場合は、
絶対に使用せず廃棄してください。



3. 支柱を開閉して行う点検

■スムーズに開閉できるか確認してください。
スムーズに開閉できない場合は、左右のヒンジ(回転金具)にごみ・泥やセメントなどの異物が噛みこんでいないか点検し、異物ある場合は取り除いてください。

■開き止め金具が確実にロックするか点検してください。
確実にロックできない場合は、**絶対に使用せず廃棄してください。**

■左右のヒンジ(回転金具)にゆるみや、がたつきがないか点検してください。
がたつきのある場合は**絶対に使用せず廃棄してください。**

踏台の使い方

1. 設置場所



- 平坦かつ安定する場所や滑りにくい場所、また踏台が埋もれない場所に設置してください。
- 雨や水のかからない場所や、強い風を受けない場所に設置してください。
- 周囲に危険なものがなく、安定した作業姿勢で使える場所に設置してください。
- 踏台設置後は、がたつきがないかを確認し、ある場合は、踏台の位置を移動して安定する場所に再度設置してください。

がたつきがないか確認

踏台の周囲にある危険なものは取り除く。



2. 開閉の仕方



開閉は、慎重にゆっくり行ってください。乱暴にすると、可動部や回転部などで手をはさんだり、変形や破損の原因になります。



閉じるときは、開き止め金具(ロック金具・開き止め装置)のロックを確実に解除してください。解除せずに折りたたむと、変形や破損の原因になります。

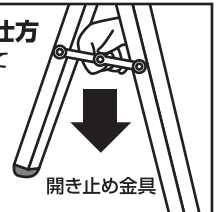
- ①踏台を開くときは、踏ざんを右図のように両手で持ち、左右に開いてください。



- ②次に、開き止め金具を上から押さえて、確実にロックしてください。
※指をはさまないように、ご注意ください。

ロックの仕方

上から押さえて
ロックする。



- ③踏台を閉じるときは、開き止め金具を上を押上げて解除し踏ざんを両手で持ち、ゆっくり折りたたんでください。
※指をはさまないように、ご注意ください。

踏台の使い方

3. 昇り方・降り方・作業の仕方



昇る前に、必ず開き止め金具が確実にロックされていることを確認してください。



室内では素足、屋外では運動靴などの滑りにくいはきものを履いてください。



- 身体の正面を踏台の昇降面に向け、ゆっくり慎重に昇り降りしてください。
- 降りるときは飛び降りず、踏ざんに1段ずつ足を掛け、最下段の踏ざんまで使い、慎重に降りてください。
- 天板の上で作業するときは、身体を踏台から乗り出さないようにしてください。
- 作業中に踏台を移動させる場合は、一度踏台から降りて移動してください。



- 天板に乗るときは、身体が天板の中央にくる位置に乗ってください。
- 天板には、下図のように足裏が天板に直交するように乗ってください。足裏を天板に沿わせて乗ると、バランスを失いやすく、転倒や転落の恐れがあります。

ゆっくり慎重に昇り降りする。



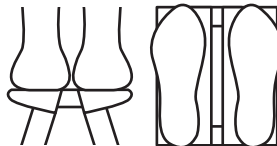
足を軽く開いて
バランスを
保てるように
天板に乗る。



正しい足の掛け方



悪い足の掛け方



使用後のお手入れと保管の仕方

1. お手入れの仕方

本製品に泥・汚水・セメント・石灰・海水は大敵です。いつもきれいにしておいてください。

【掃除の仕方】

- ①汚れは、濡れぞうきんなどできれいに拭き取ってください。
- ②汚れがいちじるしい場合は、水洗いした後、乾いた布で拭いてください。
- ③油系の汚れはクリーナーや洗剤で落とした後、クリーナーや洗剤が残らないように、きれいに拭き取ってください。



注意

**クリーナーや洗剤を付けたままにしていると
腐食の原因になります。**

2. 保管の仕方

- ①雨や直射日光の当たらない、風通しの良い乾燥した場所を選んで保管してください。
雨や直射日光が当たると、各部の腐食や劣化が生じ、強度低下の原因となります。
- ②本製品が濡れているときは、十分に乾燥させてから保管してください。



注意

**■保管中は、本製品の上に物を置かないでください。
■農薬やセメント・石灰の近くに本製品を置きますと、化学反応を起こして
腐食の原因になりますので、絶対に置かないでください。**

「故障かな?」と思ったら(不調診断)

■使用の際、ぐらぐらする。

点検する箇所	処置の仕方
支柱と踏ざんの接合部に、ゆるみやガタツキがありませんか。	ある場合は、使用せず廃棄してください。
支柱とヒンジ(回転金具)の接合部にゆるみやありませんか。	ある場合は、使用せず廃棄してください。

■設置面が水平であるにガタガタする。

点検する箇所	処置の仕方
踏台の支柱が曲がっていませんか。 特に、下部に曲がりやねじれはありませんか。	曲がっている場合は、使用せず廃棄してください。
滑り止めキャップ(支柱端具)が外れたり、 すり減ったりしていませんか。	外れたり、すり減ったりしている場合は、使用しないください。

■踏台がスムーズに開閉できない。

点検する箇所	処置の仕方
ヒンジ(回転金具)部のゆるみや、 大きなガタツキがありませんか。	ある場合は、使用せず廃棄してください。
開き止め金具(開き止め装置)の変形や 取り付け部のゆるみ、ガタツキはありませんか。	ある場合は、使用せず廃棄してください。
ヒンジ(回転金具)や開き止め金具 (開き止め装置)がサビついていませんか。	サビついている場合は、回転部に注油してください。 機能が損なわれるような、いちじるしい サビつきがある場合は、使用せず廃棄してください。



**製品に異常があった場合、手直しや補修は絶対にしないでください。
また、製品を改造しないでください。一度変形した本体や金具は、
著しく強度が落ちており、手直ししても本体や金具の破損が起こり、
転倒や転落による人身事故の原因となります。
製品に異常がある場合は、使用せず廃棄してください。**

